



ZENBUTSU

全仏

No.
576

仏暦2555年1月
[2012年]



高知県室戸岬・海からの朝日——撮影 仏像ガール®

目次	新年のご挨拶 河野太通会長・有田恵宗理事長	2
	第3回理事会 第2回評議員会・参与会	3
	宣言文 原子力発電によらない生き方を求めて	4
	第30期会長・副会長推戴委員会	4
	第32回韓日・日韓仏教文化交流大会 観門寺大会	5
	国際交流団体活動報告会	5
	東京都仏教連合会主催「成道会の集い」	14
	仏教主義学校連盟弁論大会	14
	原発事故により福島県内の菩提寺と連絡がとれない方々の電話取次開始	16
	大阪府佛教会から「救援基金」に寄託	16



財団法人 全日本仏教会
JBF WFB(世界仏教徒連盟)日本センター

新年のあいさつ



会長
河野 太通

平成二十四年の新年、明けましておめでとうございます。

全日本仏教会の加盟団体、賛助会員、関係各位の皆様方には、よきお年をお迎えになられたことと拝察致します。しかしながら昨年東日本大震災被害、原子力発電所の事故、また和歌山県地方の台風被災に遭遇された方々には、改めてお見舞い申し上げると共に、一日も早い復興に向かって歩んで行く新たな年の始まりであることを祈念致します。

地球規模の自然環境の破壊から来る天候の異変や、動植物生態の異常は、人間の存在も危険に曝されていることを示唆しています。私たちは、自然環境を破壊しているのは、他ならぬ私たちであることに目覚め、個人の幸福が社会全

体の福祉と調和する道をあゆまなければなりません。

本年もご精進あらんことを切望し、新年のごあいさつとさせていただきます。



「照古鑑今」—— 古を照らし、今を鑑みる ——

新年「ご挨拶」



理事長
有田 恵宗

平成二十四年の年頭に当り、謹んでご挨拶を申し上げます。

新春を迎える心は、それぞれの世代によって様々であります。新たな一年を歩まんとする志は、誰しもが抱かれています。存じます。

昨年は、未曾有の大災害により、多くのかげがえのない命が失われ、今もなお、被災された方々が避難生活を余儀なくされております。

未だ、行方のわからない方々のご家族の心中を推し量るに、索漠たる思いが拭いきれません。新年の旭日が、希望の光となって、被災地と被災者の心を照らし、被災者と共に、困難を乗り越える新たな一歩となることを強く願うものであります。

全日本仏教会では、震災時より、避難所となった寺院や全国各地から集まった僧侶たちによる復興・

ボランティア活動に対して、全力で支援を行って参りました。

被災された全ての方々の悲しみに寄り添い、今日この日を生きるべく共に歩んでいくことが、仏教者としての仏行ではないでしょうか。

「慈しむ心」は、己の我執を取り除き、自然と感謝の念を抱かせるものであります。「自分さえよければいい」という考えは、最終的には、自分も社会をも生かすことができません。仏教精神にある慈悲の心が広く人々に浸透していくことが、絆を深め復興の礎となっていくことでしょう。

被災地に一日も早く平穏な日々が訪れるよう、引き続き支援活動を続けて参る所存であります。加盟団体、関係諸団体の皆様には、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い致します。

第三回理事会 第二回評議員会・参与会

十二月一日午後二時より、東京グランドホテル三階「桜の間」において開催された。本会寄附行為に基づき理事会議長に有田恵宗理事長、評議員会議長には互選で粕谷利通評議員（真言宗豊山派）が選出された。

評議員会議案第一号【現行寄附行為上の理事及び監事の変更について承認を求める件】

審議の結果、全会一致で左記のとおり理事の変更が承認された。（監事の変更は無し）。

退任 増田貞圓（大阪府佛教会）
就任 井桁雄弘（大阪府佛教会）
理事会議案第一号【現行寄附行為上の評議員及び参与の変更について承認を求める件】

審議の結果、以下のとおり全会一致で評議員・参与の変更が承認された。

評議員

退任 黒髪寛延（真言宗大覚寺派）

就任 小宮一雄（京都府仏教連合会）

就任 服部精村（真言宗大覚寺派）

参与 安原 晃（京都府仏教連合会）

参与

退任 高倉隆乗（真宗高田派）

就任 吉川恵教（真宗木辺派）

就任 藤森邦夫（真宗高田派）

米倉生法（真宗木辺派）
西郊良光（日韓仏教交流協議会）

理事会議案第二号・評議員会議案第二号【公益財団法人全日本仏教会の最初の理事及び監事就任予定者の変更と、それに伴う定款変更について承認を求める件】

公益財団法人全日本仏教会の最初の理事及び監事の就任予定者の変更とそれに伴う定款変更について、審議の結果全会一致で承認された。

理事就任予定者の変更

岡部快圓（京都府仏教連合会）

←

竹田空尊（京都府仏教連合会）

監事就任予定者の変更

増田貞圓（大阪府佛教会）

←

井桁雄弘（大阪府佛教会）

理事会議案第三号【第三十期会長及び副会長の推戴について承認を求める件】

同日午後一時から開催された第三十期会長及び副会長推戴委員会について、庄野光昭委員長（理事、高野山真言宗）より審議経過ならびに答申が報告された。審議の結果、第三十期会長及び副会長の推戴については、全会一致で原案通

り承認された。採決の後第三十期会長就任宗派の天台宗・阿純孝理事よりお礼の挨拶がなされた。

（平成二十四年四月一日就任）

第三十期会長

半田孝淳（天台座主）

第三十期副会長

北河原公敬（華嚴宗管長）

横田南嶺（臨済宗円覚寺派管長）

萩野映明（埼玉県佛教会会長）

前田定戒（和歌山県佛教会会長）

宮林昭彦（日韓仏教交流協議会会長）

理事会議案第四号 評議員会議案第三号【原子力発電所事故の対応について承認を求める件】

事務総局より宣言文（案）「原子力発電によらない生き方を求めて」（四頁に全文掲載）提出の経緯等の説明を行ない、河野太通会長からの映像メッセージを放映した。審議の結果、宣言文（案）は全会一致で承認された。

理事会、評議員会協議事項第三号【暴力団排除条例全国施行に伴う対応について賛同を求める件】

事務総局より、昭和五十一年五月十七日に開催された第二十四回全日本仏教徒会議三重大会における決議から今日に至るまでの経緯説明がなされた。次に、警察庁刑事局組織犯罪対策部暴力団対策課の伊藤正人警視と山田恭市警部が紹介され、伊藤警視より「義理か

けと暴力団排除条例について」と題して説明がなされた。審議の結果、第二十四回全日本仏教徒会議三重大会決議文の確認と、決議文内容を加盟団体傘下の寺院に周知徹底をはかることについて、全会一致で賛同を得た。

理事会、評議員会協議事項第一号【平成二十四年度事業計画大綱について賛同を求める件】

理事会、評議員会協議事項第二号【平成二十四年度予算大綱について賛同を求める件】

関連事項のため一括上程。事務総局より説明を行なう。審議の結果、全会一致で賛同を得た。

報告事項

福島県仏教会三村真城会長より、同仏教会から本会加盟宗派宛に送付された要望書の内容について説明がなされた。関連して、事務総局より原子力発電所事故に伴う福島県避難寺院と地域住民との取次、東日本大震災の第二次支援、本会と日本仏教福祉学会が共同で行なう東日本大震災における日本仏教各宗派教団の取り組みに関するアンケート調査についての説明が、各々資料にもとづいてなされた。その他、各部より報告を行なう。午後四時十分、全ての審議が終了し、閉会となった。

宣言文 原子力発電によらない生き方を求めて

東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質の拡散により、多くの人々が住み慣れた故郷を追われ、避難生活を強いられています。避難されている人々はやり場のない怒りと見通しのつかない不安の中、苦悩の日々を過ごされています。また、乳幼児や児童をもつ多くのご家族が子どもたちへの放射線による健康被害を心配し、「いのち」に対する大きな不安の中、生活を送っています。

広範囲に拡散した放射性物質が、日本だけでなく地球規模で自然環境、生態系に影響を与え、人間だけでなく様々な「いのち」を脅かす可能性は否めません。

日本は原子爆弾による世界で唯一の被爆国であります。多くの人々の「いのち」が奪われ、また、一命をとりとめられた人々は現在もお放射線による被曝で苦しんでいます。同じ過ちを人類が再び繰り返さないために、私たち日本人はその悲慘さ、苦しみをとおして「いのち」の尊さを世界の人々に伝え続けています。

全日本仏教会は仏教精神にもとづき、一人ひとりの「いのち」が尊重される社会を築くため、世界平和の実現に取り組んでまいりました。その一方で私たちはもつと快適に、もつと便利にと欲望を拡大してきました。その利便性の追求の陰には、原子力発電所立地の人々が事故による「いのち」の不安に脅かされながら日々生活を送り、さらには負の遺産となる処理不可能な放射性廃棄物を生み出し、未来に問題を残しているという現実があります。だからこそ、私たちはこのような原発事故による「いのち」と平和な生活が脅かされるような事態をまねいたことを深く反省しなければなりません。

私たち全日本仏教会は「いのち」を脅かす原子力発電への依存を減らし、原子力発電に依らない持続可能なエネルギーによる社会の実現を目指します。誰かの犠牲の上に成り立つ豊かさを願うのではなく、個人の幸福が人類の福祉と調和する道を選ばなければなりません。

そして、私たちはこの問題に一人ひとりが自分の問題として向き合い、自身の生活のあり方を見直す中で、過剰な物質的欲望から脱し、足ることを知り、自然の前で謙虚である生活の実現にむけて最善を尽くし、一人ひとりの「いのち」が守られる社会を築くことを宣言いたします。

二〇一一年（平成二十三年）十二月一日

財団法人 全日本仏教会

第三十期会長・副会長 推戴委員会

十二月一日午後一時、理事会、評議員会・参与会に先立ち、東京グランドホテル三階「桜の間」において開催された。出席された推戴委員会委員は以下のとおり（敬称略）。佐々木孝一（曹洞宗）、竹田恵示（真宗大谷派）、小林正道（浄土宗）、渡邊照敏（日蓮宗）、庄野光昭（高野山真言宗）、阿 純孝（天台宗）、岡部快圓（真言宗智山派）、粕谷利通（真言宗豊山派）、守山雄順（聖観音宗）、小保方教圓（栃木県仏教会）、御木徳久（愛媛県仏教会）、末廣久美（社） 全日本仏教婦人連盟）。

互選により庄野委員を委員長に選出。慎重なる審議の結果、全会

一致で原案通り会長・副会長を推戴することを決定し（三頁参照）、庄野委員長より有田理事長に答申した。



第三十二回韓日・日韓仏教文化交流大会 観門寺大会

十一月十五日、大韓仏教天台宗 観門寺（ソウル市）を主会場に両国仏教者ら約二百名を集め、交流大会が開催された。本会からは戸松義晴事務総長、藤田宗玄国際部次長が参加した。

今大会は三月に発生した東日本大震災の影響を配慮し、例年より時期を遅らせての開催となった。第一部の法要では、両国仏教者により世界平和祈願法要が厳修された。法要後、慈乗会長（韓国）より「両国の仏教界は震災を契機に、お互いが更なる手助けとなる同伴者という事実を今一度確認することとができた」と両国の絆の深さを強調した挨拶が述べられた。

宮林昭彦会長（日本）は、五月に韓国仏教代表団が来日し、東日本大震災慰霊法要が執り行われたこと、その際に多大な義捐金が寄託されたことに触れ、「篤い赤誠と長年の友情に感謝を捧げる」と謝意を述べた。

また、河野太通本会会長の祝辞を戸松義晴事務総長が代読し、震災発生後の韓国の迅速な支援活動に対し、日本の伝統仏教教団を代

表して御礼が述べられた。

第二部では今大会のテーマである「宗教間の和合問題」に基づき、尹永海師（韓国・東国大学校慶州キャンパス仏教学科教授）と渡邊寶陽師（立正大学名誉教授）が両国を代表し基調講演を行った。大会の最後に共同宣言文の調印式が行われ、停滞している韓半島出身者ご遺骨の返還促進に向けて両国仏教徒が努力することなど、将来における友好親善の絆の更なる深まりを信じるとした共同宣言文が発表された。



人類和合共生祈願碑の前で記念撮影が行われた

国際交流団体活動報告会

十二月七日午後二時より、明照会館会議室を会場に本会主催「国際交流団体活動報告会」を開催、加盟団体・賛助会員・報道関係より約三十名が参加した。

本報告会は、加盟団体内外において、仏教を通じた国際交流活動を長年に渡って展開し、民間交流を担ってきた団体の活動について学び、さらにはその周知と広報を図るべく企画されたもので、今回は五つの団体より報告者をお招きした。当日ご報告をいただいたのは左記の各師。

財団法人仏教伝道協会

事業推進部海外及び支援事業グループ 大來尚順師

財団法人国際仏教興隆協会

事務総長 正本乗光師

日韓仏教交流協議会

事務総長 野澤隆幸師

日華仏教文化交流協会

事務総長 成田孝英師

日中友好宗教者懇話会

事務局長 内山堯邦師

当日はまず、報告者各師より、所属する団体の創設の経緯やこれまでの活動、近年の課題などについて、写真等も用いながら詳細にご報告いただいた。さらに、それぞれの団体が直接に関係する各国仏教界の近年の情勢、トピックなども紹介された。

続いて、戸松義晴事務総長がコーディネーターを務め、報告者と参加者を交えた質疑応答が行われ、活発な意見交換がなされた。

本報告会は近年にはなかった試みで、仏教を通じた各団体の民間交流について参加者は興味深く聞き入っていた。



報告者各師からの詳細な報告が行われた

年 新 賀 謹

曹洞宗宗務庁

管 長	江 川 辰 三
宗務総長	佐々木 孝一
参 議	羽 仁 素 道
参 議	岩 田 啓 靖
教学部長	河 村 松 雄
伝道部長	齋 藤 裕 道
人事部長	中 野 重 哉
出版部長	石 川 順 之
教化部長	釜 田 隆 文
総務部長	坂 野 浩 道
財政部長	神 野 哲 州

東京都港区芝二一五一一
〒105-8544 ○三(三四五四)五四一一
<http://www.sotozen-net.or.jp>

浄土真宗本願寺派

総 長	橘 正 信
総 務	竹 田 空 尊
総 務	後 藤 壽 邦
総 務	光 岡 理 學
総 務	中 戸 康 雄
総 務	足 利 善 彰
本願局長	藤 野 堯 文
宗門長期振興計画 推進対策室長	武 野 公 昭
親鸞入七百五十四大 遠忌中法要事務長	仲 尾 孝 誠
総局公室長	中 尾 史 峰
会 行 事	今小路 覚 真
宗務企画室長	北 浦 思 朗
教学伝道研究 センター所長	佐々木 恵 精
本願寺宗務本部 センター所長	山 内 教 嶺

京都市下京区堀川通花屋町下ル
〒600-8501 ○七五(三七)五一八一
F A X ○七五(三五)一一一一

真宗大谷派

宗務総長	安 原 晃
参 務	杉 浦 義 孝
参 務	竹 田 恵 示
参 務	林 治
参 務	江 尻 静 哉
参 務	岩 坂 賢 龍

京都市下京区烏丸通七条上ル
〒600-8505 ○七五(三七)九一八二代表
<http://www.higashihongangyo.or.jp/>

浄土宗

浄土門主	伊 藤 唯 眞
宗務総長	豊 岡 鐸 尔
総務局長	中 村 在 徹
教学局長	山 本 正 廣
財務局長	浦 野 瑞 明
社会国際局長	宮 林 雄 彦
文化局長	岡 本 宣 丈
総長公室長	浅 野 義 光
人権同和室長	山 北 光 彦
宗祖法上人八百年 大遠忌事務局長	武 田 和 清
社会福祉推進 事務局長	新 谷 仁 海
職員	一 同

浄土宗宗務庁
京都市東山区林下町四〇〇一八
〒605-0062 ○七五(五二五)二二〇〇代
F A X ○七五(五三一)五一〇五
東京都港区芝公園四一七一四
〒105-0011 ○三(三四三六)三三五一代
F A X ○三(三四三四)〇七四四
<http://www.jodo.or.jp>

日蓮宗

管 長	内 野 日 総
宗務総長	渡 邊 照 敏
伝道局長	齊 藤 憲 一
総務局長	塩 崎 望 巳
伝道部長	中 井 本 秀
教務部長	川 口 久 雄
総務部長	池 田 弁 岳
財務部長	川 口 智 康
宗務総長	渡 邊 義 生
現代宗教 研究所長	三 原 正 資
参 与	渡 邊 一 之
参 与	吉 田 海 心
社 日蓮宗新聞社 長	村 上 俊 正

東京都大田区池上一一三一一五
〒146-8544 ○三(三七五)七一八一
F A X ○三(三七五)七一八六
<http://www.nichiren.or.jp/>

年 新 賀 謹

總本山金剛峯寺
高野山真言宗

座主 松長有慶

執行総長 庄野光昭

執行総長 永島龍弘

執行総長 村上保壽

執行総長 仲下瑞法

執行総長 森寛勝

執行総長 岡部兼海

執行総長 倉岡弘叔

執行総長 深真樹

執行総長 萩山祥光

執行総長 近藤本淳

執行総長 加古原大岳

執行総長 坎宥行

執行総長 四之宮弘孝

執行総長 柏田良辯

和歌山県伊都郡高野町高野山一三二
〒648-0294 〇七三六(五六)二〇一一
FAX 〇七三六(五六)四六四〇
<http://www.koyasan.or.jp/>

臨濟宗妙心寺派宗務本所

管長 河野太通

宗務総長 松井宗益

総務部長 松山英照

教育部長 栗原正雄

財務部長 松久宗心

本部園長 林学道

法務部長 土井克彦

花園園長 (兼) 松山英照

京都市右京区花園妙心寺町六四
〒616-8035 〇七五(四六三)三二二一
<http://myoshinji.or.jp/>

天台宗務庁

天台座主 半田孝淳

宗務総長 阿純孝

総務部長 杜多道雄

法務部長 山田亮清

財務部長 阿部昌宏

教育部長 齊藤圓真

社会部長 村上圓竜

参一関を照らす
運動総本部長 福惠善高

大津市坂本四丁目六番二号
〒520-0113 〇七七(五七九)〇〇二二
FAX 〇七七(五七九)二五一六
<http://www.tenda.or.jp/>

真言宗智山派宗務庁
總本山智積院法務所

化管主長 寺田信秀

宗務総長 岡部快圓

教育部長 細川大憲

教化部長 岡野忠正

法務部長 江連俊裕

財務部長 芙蓉良英

宗務出張所
別院執事 高麗行真

京都市東山区東大路七条下ル
〒605-0951 〇七五(五四一)五三六一
<http://www.chisan.or.jp/>

真言宗豊山派宗務所

管長 小野塚幾澄

宗務総長 川田聖成

総務部長 高橋秀三

財務部長 五十嵐賢二

教務部長 粕谷利通

教化部長 小倉秀清

教化センター長 大越恒範

真言宗豊山派総合研究院 院長
川崎信定

東京都文京区大塚五十四〇一八
〒112-0012 〇三(三九四五)〇六三九
FAX 〇三(三九四五)〇七〇二
<http://www.buzan.or.jp/>

年 新 賀 謹

総本山仁和寺
真言宗御室派

門管
長跡
南
揚
道

執行
宗務
総長
瀬
川
大
秀

執行
総務
部長
杉
本
泰
俊

執行
教務
部長
藤
橋
千
秋

執行
財務
部長
大
西
智
城

仁和
所
長
添
野
智
讓

仁和
密教
学院
院長
林
俊
仁

御室
流華
道
總
司
川
井
宏
雄

京都市右京区御室大内三三
〒616-8092 〇七五(四六一)一一五五
FAX 〇七五(四六四)四〇七〇
<http://www.mina.jp>

真言宗醍醐派宗務本庁
総本山醍醐寺寺務所

座管
主長
仲
田
順
和

執行
宗務
総長
壁
瀬
宥
雅

執行
総務
部長
仲
田
順
英

執行
教務
部長
田
中
祐
考

執行
財務
部長
浦
郷
宜
右

伝法
学院
院長
田
村
照
晃

京都市伏見区醍醐東大路町二二
〒601-1325 〇七五(五七一)〇〇〇二
FAX 〇七五(五七一)〇一〇一
<http://www.daigoji.or.jp>
携帯電話でも御覧頂けます。



天台真盛宗宗務所
総本山西教寺

管
長
西
村
岡
紹

執行
宗務
事
川
合
歳
明

庶務
部長
喚
阿
宏
道

教務
部長
別
所
泰
広

社会
部長
竹
澤
良
全

財務
部長
森
尾
即
榮

滋賀県大津市坂本五―一三一―
〒520-0113 〇七七(五七八)〇〇一三
FAX 〇七七(五七八)三四一八

融通念佛宗
総本山大念佛寺

法管
主長
倍
巖
良
舜

寺務
宗務
総長
吉
村
暲
英

教務
法務
部長
中
江
慈
光

庶務
部長
岡
田
眞
澄

財務
會計
部長
北
川
全
宏

大阪市平野区平野上町
〒547-0045 〇六六(七九二)〇〇二六
FAX 〇六六(七九二)三〇五〇
<http://www.dainenbutsuji.com/>

和宗
総本山四天王寺

管
長
奥
田
聖
應

執
事
長
森
田
俊
朗

執
事
瀧
藤
尊
淳

執
事
南
谷
恵
敬

執
事
塚
原
昭
應

執
事
出
口
隆
順

執
事
吉
田
明
良

執
事
坂
本
峰
徳

大阪府大阪市天王寺区四天王寺一
丁目十一番十八号 和宗宗務所
〒543-0051 〇六六(七七二)〇〇六六
FAX 〇六六(七七二)四九二一
<http://www.shiennoji.or.jp>

年 新 賀 謹

大阪府佛教会

会 長 井 桁 雄 弘
(浄土宗 大圓寺)

副 会 長 森 田 俊 朗
(和宗 四天王寺)

同 北 村 日 照
(日蓮宗 櫛笥寺)

同 村 山 廣 甫
(曹洞宗 東光院)

同 森 快 隆
(真言宗 葛井寺)

事 務 局 長 二 上 寛 弘
(真言宗 釋迦院)

事 務 局
大阪府港区築港一十三—三
〒552-0021 〇六(六五七)五七一〇
釋迦院内

神奈川県仏教会

会 長 本 間 孝 康

副 会 長 和 田 大 雅

同 都 築 哲 信

同 木 内 雍 明

同 丸 山 邦 雄

事 務 局 長 吉 水 智 栄

横浜市中区大平町九六
〒231-0859 〇四五(六六一)〇一六六
西有寺内

財団法人埼玉県佛教会

会 長 萩 野 映 明

副 会 長 木 村 盛 雄

同 倉 持 秀 裕

同 深 谷 雅 良

専務理事 穂 山 教 雄

同 加 藤 玄 靜

同 杉 村 良 哉

同 条 原 恒 久

事 務 局 長 金 子 嘉 広

さいたま市浦和区高砂 四—二—一八
〒330-0063 〇四八(八六一)二—三八
FAX 〇四八(八六四)六六四九
http://saibutsumet/

京都府仏教連合会

理 事 長 安 原 晃

同 北 川 一 有

同 松 井 宗 益

同 岡 部 快 圓

同 壁 瀬 宥 雅

同 藤 井 照 源

同 久 保 敬 童

同 伊 藤 隆 泰

同 赤 田 泰 宏

同 村 山 孝 純

同 永 安 宣 明

同 田 辺 隆 衍

監 事 大 谷 義 博

同 豊 田 元 彦

事 務 局 長 小 林 潤 一

京都市下京区烏丸通七条上る
〒600-8505 〇七五(三七二)九—八二
常葉町七五四 真宗大谷派宗務所内
FAX 〇三三(七九八)二七五八
http://www.bdk.or.jp

財団法人 仏教伝道協会

会 長 沼 田 智 秀

理 事 長 福 山 諦 法

理 事 中 西 智 海

同 木 村 清 孝

同 桂 紹 隆

同 門 脇 邦 彦

監 事 中 野 東 禪

同 野 村 邦 武

〒108-0014
東京都港区芝四丁目三一—一四
電 話 〇三三(四五五)五八五一
FAX 〇三三(七九八)二七五八
http://www.bdk.or.jp

年 新 賀 謹

本門佛立宗
本山宥清寺

講 有 小山 日 誠

宗務総長 佐藤 日 風

本山宥清寺
〒602-8330 京都市上京区一条通七松西入
滝ヶ鼻町一〇〇五番地の一
TEL 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一
本門佛立宗 宗務本庁
〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る
東堅町一〇番地
TEL 〇七五(四六二)一六六(代)
FAX 〇七五(四六四)五五九九
URL <http://www.honnon-butsuryushu.or.jp/>

顕本法華宗

管 長 中村 日 玄

宗務総長 藤 崎 広 学

京都市左京区岩倉幡枝町九十一
〒606-0015 〇七五(七九二)七二七
FAX 〇七五(七九二)七二六七

真言三宝宗
大本山清澄寺

法管 主 坂 本 光 謙

宗 務 長 岡 田 康 秀

執 行 長 有 井 良 隨

鉄斎美術館 森 藤 光 宣

宝塚市米谷字清シ一番地
〒665-0837 〇七九七(八六〇)六六四一
FAX 〇七九七(八六〇)六六六〇
<http://www.kiyoshikojin.or.jp>

宗教法人 念法眞教

総 本 山 金 剛 寺

大阪市鶴見区緑三―四―一二一
〒538-0054 〇六六九(一一二)一〇一
<http://www.nenpoushinkyou.jp/>

真宗高田派

宗務総長 青 木 眞 暁

総 務 藤 森 邦 夫

総 務 藤 山 眞 哉

七百五十回忌
遠忌事務局長 岩 田 光 正

三重県津市一身田町二八一九番地
〒514-0114 〇五九(二三二)四一七一
FAX 〇五九(二三二)二四一四

東京都仏教連合会

会 長 丹 羽 慈 祥

理 事 長 山 田 一 眞

事務局長 新 倉 典 生

東京都足立区梅田一―二六―十
善立寺内
〒123-0851 〇三(三八八六)一三六七
FAX 〇三(三八八六)八二五二

福島県仏教会

各方面からのご支援・ご協力
に厚く御礼申し上げます。

会 長 三 村 眞 城

専務理事 加 賀 正 孝

事務局長 伊 藤 寂 俊

福島県郡山市西田町木村字
寺ノ前一一九
建福寺内
〒963-0914 〇二四(九七二)二九一一
FAX 〇二四(九七二)二一四三

愛媛県仏教会

会 長 御 木 徳 久

副 会 長 二 宮 泰 慶

同 内 藤 卓 洲

事務局長 怒 和 智 幸

松山市安城寺町一二七二
安祥寺内 愛媛県仏教会事務局
〒791-8006 〇八九(九九七)〇〇六九

京都仏教会

会 長 東 伏 見 慈 治

理 事 長 有 馬 頼 底

事務局長 長 澤 香 静

京都市上京区今出川通烏丸東入
相国寺門前町六八四―一
〒602-0898 〇七五(二三三)六九七五
FAX 〇七五(二三三)六九七六

愛知県仏教会

会 長 吉 田 教 行

副 会 長 田 畑 修 身

同 伊 藤 正 導

同 岩 木 涼 山

名古屋市天白区植田一―三一―一
全久寺内
〒468-0051 〇五二(八九三)九二九〇
FAX 〇五二(八九三)九二九〇

年 新 賀 謹

社団法人 全日本仏教婦人連盟		信貴山真言宗 総本山朝護孫子寺	
名誉会長 鷹司 誓玉	管 長 鈴木 貴晶		
会 長 大谷 貴代子	前管長 田中 眞瑞		
理事長 末廣 久美	長 老 鈴木 風永		
事務局長 林 恵智子	寺務長 野澤 密孝		
東京都渋谷区千駄ヶ谷 四一五一―二〇五 〒151-0051 〇三(五七七)二〇六七七 FAX 〇三(五七七)二〇六七七 http://jbwf.jp E-mail:info@jbwf.jp		奈良県生駒郡平群町信貴山 一二八〇―一 〒636-0923 〇七四五(七)二二七七	
財団法人 国際仏教興隆協会		真言律宗 総本山西大寺	
名誉会長 塩川 正十郎			
印度山 日本寺主 半田 孝淳	真言律宗管長 総本山西大寺長老 大矢 實圓		
理事長 安田 暎胤			
事務総長 正本 乗光			
役員 一同			
東京都目黒区中目黒五―二四―五三 〒153-0061 〇三(三三七)二七六〇八 FAX 〇三(三三七)二七六七三 http://www.jbajp/ E-mail:jimukyoku@jbajp		奈良市西大寺芝町一丁目一の五 西大寺内 真言律宗宗務所 〒631-0825 〇七四二(四五)四七〇〇 FAX 〇七四二(四五)四七二〇	
孝道教団		真言宗大覚寺派宗務庁 大本山大覚寺	
統理 岡野 正純	管門 長跡 下泉 恵尚		
聖観音宗 浅草寺		臨済宗円覚寺派	
貫首 清水谷 孝尚	大本山 円覚寺		
東京都台東区浅草二―三―一 〒111-0032 〇三(三八四)二〇一八一 FAX 〇三(三八四)六九三三		鎌倉市山ノ内四〇九 〒247-8503 〇四六七(二)二〇四七八 http://www.engakuji.or.jp/	
臨済宗南禅寺派		総本山 根来寺	
宗務総長 後藤 憲雄	新義真言宗宗務所		
京都市左京区南禅寺福地町八六 〒606-8435 〇七五(七七)〇三六五 FAX 〇七五(七七)一六九八九 http://www.nanzen.net E-mail:info@nanzen.net		和歌山県岩出市根来二二八六 〒649-6202 〇七三六(六二)一一四四 FAX 〇七三六(六二)一〇四四	
真言宗中山寺派		時宗宗務所	
大本山 中山寺	宗務長 高木 貞歡		
宝塚市中山寺二丁目十一―一 〒665-8588 〇七九七(八七)〇〇二四 FAX 〇七九七(八七)九八七七 http://www.nakayamadera.or.jp		神奈川県藤沢市西富一―八―一 遊行寺内 〒251-0001 〇四六六(二三)七二七六	
東寺真言宗			
宗務総長 橋本 尚信			
京都市南区九条町一 東寺真言宗宗務庁 〒601-8473 〇七五(六七)三七一七 FAX 〇七五(六七)六八五六			

年 新 賀 謹

賛助会員

【特別会員】

大本山東福寺 永井 慶洲
蓮華院誕生寺 川原 英照
大本山南禅寺 中村 文峰
尾道仏教会 松岡 昭禮
實相山中央寺 南澤 道人
信州善光寺 若麻 續信昭
妙見閣寺 竹内 祥起
社団法人 仙台仏教会

【団体会員】

京セラ株式会社
東映株式会社
株式会社損害保険ジャパン
大和証券株式会社 法人サポート部
野村證券株式会社 法人企画部
朝日エンタテインメント株式会社 (コンサルティング)
株式会社 JTB 法人東京第一事業部 (旅行業)
トップツアー株式会社 (旅行業)
近畿日本ツーリスト株式会社 (旅行業)
東日観光株式会社 (旅行業)
株式会社 ビーエス観光 (旅行業)
財団法人 ライフプランニングセンター (医療関連)
日本アンパワーズ株式会社 (寺院経営コンサルtant)
株式会社 三州社 (印刷業)
株式会社 信天堂 (印刷業)
株式会社 図書印刷同朋舎 (印刷業)
ティケイヘンデルアート (印刷業)
株式会社 四季社 (出版業)
株式会社 オメガコム (翻訳、出版物企画・制作)
株式会社 ティー・エー・エー・エー・エー (出版物企画・制作)
新日本法規出版株式会社 (法規図書出版)
株式会社 オールドリー (保険代理店)
有限会社 ルンビニ (保険代理店)
株式会社 京念珠刑部 (念珠製造・販売)
株式会社 京扇堂 (扇子製造・販売)
株式会社 公益社 (葬祭業)
株式会社 ダイセイ (総合商社)
株式会社 いせや (石材業)

【個人会員】

学校法人 真宗大谷学園
全日本宗教用具協同組合
全日本葬祭業協同組合連合会
岩手県葬祭業協同組合
埼玉葬祭業協同組合
東京都葬祭業協同組合
東京葬祭業協同組合
神奈川県葬祭業協同組合
岐阜県葬祭業協同組合
名古屋葬祭業協同組合
愛知県葬祭業協同組合
京都中央葬祭業協同組合
大阪葬祭業協同組合
大阪市規格葬儀指定店事業協同組合
徳島県中央葬祭業協同組合
福岡県葬祭業協同組合
長崎県葬祭業協同組合
社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会
一般社団法人 日本石材産業協会

稲盛 和夫 (京セラ株式会社名誉会長)
社本 公一 (公認会計士)
池田 行信 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
石上 智康 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
塩月 光夫 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
高橋 篤法 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
武田 昭英 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
中田 清吉 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
村上 智真 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
村橋 吉重 (浄土真宗本願寺派 宗会議員)
天性寺 毛利 俊行 (山形県)
福聚院 伊達 廣三 (宮城県)
西福寺 志鳥 融光 (茨城県)
東栄寺 大森 忠篤 (埼玉県)
建福寺 安野 正樹 (埼玉県)
法瑠寺 矢島 浄純 (埼玉県)
本照寺 境野 哲秀 (東京都)
慈眼寺 櫻井 英幸 (東京都)
浄心寺 佐藤 雅彦 (東京都)
玉林禅寺 長谷 琢堂 (東京都)

信松院 西村 輝成 (東京都)
大蔵寺 佐藤 直道 (神奈川県)
金蔵院 眞田 有快 (神奈川県)
龍泉寺 壽山 良光 (神奈川県)
圓満寺 西郷 良光 (神奈川県)
正泉寺 野澤 隆幸 (神奈川県)
玄向寺 萩須 眞教 (長野県)
本光寺 木村 光正 (静岡県)
十楽寺 井口 真曜 (滋賀県)
光泉寺 松山 公顯 (愛知県)
寂光院 松平 實胤 (愛知県)
太福寺 佐久間 大道 (東京都)
精明寺 正田 哲壽 (鳥取県)
鈴木 朝雄 (東京都)
牧島かれん (東京都)
川嶋 英彦 (千葉県)
櫻田 佳正 (京都府)
安田 容造 (京都府)
田中 悠樹 (長野県)
和心庵 井上美和子 (佐賀県)
赤松 広隆 (民主党衆議院議員)
枝野 幸男 (民主党衆議院議員)
大串 博志 (民主党衆議院議員)
大西 孝典 (民主党衆議院議員)
楠田 大蔵 (民主党衆議院議員)
小宮山 洋子 (民主党衆議院議員)
仙谷 由人 (民主党衆議院議員)
高木 義明 (民主党衆議院議員)
田島 一成 (民主党衆議院議員)
原口 一博 (民主党衆議院議員)
平岡 秀夫 (民主党衆議院議員)
前原 誠司 (民主党衆議院議員)
松本 剛明 (民主党衆議院議員)
三日月 大造 (民主党衆議院議員)
横光 克彦 (民主党衆議院議員)
和田 隆志 (民主党衆議院議員)
大塚 耕平 (民主党衆議院議員)
斎藤 嘉隆 (民主党衆議院議員)
佐藤 公治 (民主党衆議院議員)
鈴木 寛 (民主党衆議院議員)

白 眞勲 (民主党参議院議員)
林 久美子 (民主党参議院議員)
福山 哲郎 (民主党参議院議員)
藤谷 光信 (民主党参議院議員)
前田 武志 (民主党参議院議員)
岩屋 毅 (自由民主党衆議院議員)
金子 恭之 (自由民主党衆議院議員)
河村 建夫 (自由民主党衆議院議員)
高村 正彦 (自由民主党衆議院議員)
下村 博文 (自由民主党衆議院議員)
高市 早苗 (自由民主党衆議院議員)
中川 秀直 (自由民主党衆議院議員)
長勢 甚遠 (自由民主党衆議院議員)
野田 毅 (自由民主党衆議院議員)
平沢 勝栄 (自由民主党衆議院議員)
保利 耕輔 (自由民主党衆議院議員)
赤石 清美 (自由民主党衆議院議員)
岩城 光英 (自由民主党衆議院議員)
片山 さつき (自由民主党衆議院議員)
小坂 憲次 (自由民主党衆議院議員)
佐藤 ゆかり (自由民主党衆議院議員)
鈴木 政二 (自由民主党衆議院議員)
谷川 秀善 (自由民主党衆議院議員)
中川 雅治 (自由民主党衆議院議員)
二之湯 智 (自由民主党衆議院議員)
自見 庄三郎 (国民新党参議院議員)
浅尾 慶一郎 (みんなの党衆議院議員)
松本 謙公 (無所属衆議院議員)
金田 誠一 (前衆議院議員)
上川 陽子 (前衆議院議員)
久間 章生 (前衆議院議員)
関 芳弘 (前衆議院議員)
西川 京子 (前衆議院議員)
萩山 教嚴 (前衆議院議員)
平田 耕一 (前衆議院議員)
岩永 浩美 (前衆議院議員)
木村 仁 (前衆議院議員)
佐藤 泰介 (前衆議院議員)
田名部 匡省 (前衆議院議員)

(敬称略)

東京都仏教連合会主催 第二十三回「成道会の集い」開催

十二月六日、有楽町のよみうりホールにて「成道会の集い」が開催され、本会より戸松義晴事務総長、垣内善勝財務部長、東田樹治総務部次長が出席した。当日は約八百名の一般参列者が参集した。

式典では、丹羽慈祥東京都仏教連合会会長導師の元、廣圓寺一山式衆と東京都内五十五地区仏教会会長及び理事等が参列。後援の林恵智子社団法人全日本仏教婦人連盟事務局長、本会垣内財務部長が壇上に参列し法要が厳修された。

第一部はひろさちや氏による講演が行われ、「お釈迦様の教え」と題して一般の方にわかりやすく釈尊の教えが説かれた。

第二部は清興として服部真湖さんの「日本舞踊から見る日本」と題し、演目として長唄「七福神」大和楽「奥山もみじ」地唄「菊の露」が舞われた。また、真湖流「和の心」について語った。

当日は東日本大震災に関する募金活動も行われ、今後の被災地支援に役立てられる予定。

第二十八回弁論大会

十一月二十五日午後一時十五分、立正大学内の石橋湛山記念講堂を会場に第二十八回仏教主義学校連盟弁論大会が開催された。東京都仏教連合会が後援し、協賛を本会が行っている。この大会は、三十三年前に第十二回世界仏教徒会議が日本で開催されたことを契機に始まった。

弁論大会は、仏教の精神を建学の理念とする学園で組織する同連盟の中学・高校十七校の中学一年生から高校三年生、二十三名の弁士が「生き方」「いのち」「平和」などさまざまなテーマを五分間主張。話す態度、論理的な組み立て、訴える話術などが審査された結果、栄えある一位は駒沢学園女子高等学校一年生石井葉摘さんの『自分』という宝』が受賞した。

併せて全日本仏教会会長賞の表彰が行われ、河野太通会長揮毫色紙「学んで行こう 行って学ぶ」が審査員を務めた奈良慈徹総務部長より贈呈された。

「救済基金」寄付者一覧

(八月三日～十二月九日)

- 齊藤清美・齊藤親秀
- 東京都仏教連合会
- 秋川仏教会檀信徒総代会
- 港区 金地院
- 下谷仏教会
- 日本橋仏教会
- 練馬区阿弥陀寺チャリティ寄席
- 渋谷仏教会 千代田柏巖
- 台東区 長昌寺
- 中宮寺 奉賛会
- 宮崎県仏教連合会
- 龍光寺
- 浄業会
- 岐阜県仏教会
- 宮崎市仏教会
- 中国仏教協会
- 滋賀県仏教会
- 正定寺
- 東京都仏教連合会
- 八王子市 金剛院
- 八王子市 廣園寺
- 港区 覚林寺
- 秋川仏教会
- 深川仏教会
- 武蔵野仏教会
- 稲城市 宝蔵院
- 八王子市 金剛院
- 大田区 大林寺
- 浅草仏教会

- ・台東区 涼源寺
- ・葛飾区 遍照院
- ・葛飾区 長傳寺
- 北条仏教会

Hakuin-Zen-Gemeinschaft
Deutschland

- 顯本法華宗
- 愛媛県仏教会
- 静岡県仏教会

- 裾野市仏教会
- 東伊豆城東地区仏教会
- 菊川市仏教会小笠支部

- 沼津市仏教会
- 浜名郡仏教会
- 焼津市仏教会

- 稲取仏教会
- 浜北仏教会
- 齊藤清美親類一同

- 小千谷市仏教会(新潟県)
- 大阪府佛教会

合計 (順不同・敬称略)
二千五百七十九万四千八百八円

ご支援、誠にありがとうございます。本会では、国内外における災害救援や人道的支援に対し、緊急且つ迅速な対応をすべく「救済基金」を常時開設しております。今後も状況を見据えた上、現地の被災者救援活動を支援いたします。

事務総局録事

十一月（十六日～三十日）

- 十七日 ▼ 加盟団体代表者会議（於福島県あおき郡山斎苑
至十八日）
- 二十一日 ▼ 平成二十三年度第一回
広報委員会
- 二十四日 ▼ 狭山現地調査学習会出
席（富士見集会所）
- ▼ 仏教NGOネットワーク
（BNN）企画委員
会出席（慈母会館）
- ▼ 無料法律相談室
- ▼ 第百六十四回宗教法人
審議会出席
- 二十五日 ▼ 第二十八回仏教主義学
校連盟弁論大会出席
（立正中学高等学校石
橋湛山記念講堂）
- ▼ ライフエンディングス
テージ研究会出席
- 二十八日 ▼ 局内会議
- ▼ 朝日ビジネスソリュー
ション来局
- ▼ 国際交流団体活動報告
会打合せ
- 三十日 ▼ 公益財団法人公益法人協
会主催シンポジウム自然

災害と市民社会組織の役
割出席（都市センターホ
テル）

▼ 自由民主党曹団十一月定
例会出席（自由民主党本
部）

▼ 野村證券来局

▼ 全日本仏教青年会村山博
雅理事長就任祝賀会出席
（ホテル日航大阪）

十二月（一日～十五日）

- 一日 ▼ 第三十期会長・副会長推戴
委員会（東京グランドホテ
ル）
- ▼ 第三回理事会、第二回評議
員会・参与会（東京グラン
ドホテル）
- 五日 ▼ 局内会議
- ▼ 自由民主党曹団年末懇親会
参加（自由民主党本部）
- 六日 ▼ 東京都仏教連合会主催第二
十三回「成道会の集い」出
席（よみうりホール）
- ▼ 第七回社会人権審議会
- ▼ 自由民主党衆議院議員高市
早苗を激励する会出席（東
京プリンスホテル）
- 七日 ▼ 国際交流団体活動報告会

▼ 第四十四回現代名僧墨蹟展
出席（ギャラリーノア）

八日 ▼ 仏教NGOネットワーク
（BNN）セミナー出席

▼ 日本宗教連盟第八回幹事会

九日 ▼ パキスタン・イスラム共和
国大使館マルワン・アレッ
クス・アヤシュニ二等書記官
来局

▼ 損保ジャパン来局

十二日 ▼ 原発事故により福島県内
の菩提寺と連絡がとれな
い方々の電話取次開始

▼ 真宗大谷派東京宗務出張
所長田代賢治師来局

十三日 ▼ 文化庁宗務課との懇親・
懇談会（本会会議室）

十四日 ▼ 本会諸規定見直し会議

十五日 ▼ 日本石材産業ビジョン策
定第二回委員会出席（日
本石材産業協会）

▼ 民主党本部職員来局

▼ 自由民主党参議院議員中
川雅治を励ます会出席
（東京プリンスホテル）

▼ 国連UNHCR協会来局

▼ 原水爆禁止日本協議会事
務局長安井正和氏来局

▼ 劇団わらび座来局

表紙写真紹介

「高知県室戸岬・海からの朝日」

四国の高知県、東南端の室戸岬に、弘法大師空海さまが修行をされていた洞窟があります。「御厨人窟（みくろど）」といって、太平洋に面したとても静かな場所です。

真つ暗な洞窟の中から入り口の方をみてみると、真つ青な空と海が目飛び込んできます。当時、まだちがう名前を名乗っていた空海さまは、この洞窟からみた空と海の美しさに心を打たれ、自らを「空海」と名付けたそうです。さまざまな伝説を残す「超人」といわれる空海さまを前にしても、大自然の持つ力は、とてつもなく大きかったのでしょうか。

いつか空海さまがみた空と海は、千年以上も経つ今も変わらずここにあります。まるで、長い歴史を繋いでくれているかのようです。美しい空も、美しい海もある、この世界。どんなときでもお日さまは昇り、私たちを照らしてくれます。新たな一年、みなさまにもいっぱいお日さまの光が降り注ぎますように……！

仏像ガール®

原発事故により福島県内の菩提寺と連絡がとれない方々の 電話取次開始

全日本仏教会では、原発事故によって避難を余儀なくされた各ご寺院と、地域住民の方々との連絡取次を12月12日～16日に行いました。

取次期間中は、加盟団体青年僧を中心としたボランティアスタッフにお手伝いをいただき、様々な問い合わせについて、対応いたしました。また、期間終了後も引き続いて電話取次を行っております。お問い合わせは（03-3437-9275）までご連絡ください。

なお、本取り組みは、12月1日に記者会見を開催し、TV、ラジオ、新聞各紙、インターネット等で広報されました。



記者会見にて発表を行う有田恵宗理事長(右から3人目)



ボランティアスタッフによる電話取次が行われた

大阪府佛教会から「救援基金」に寄託

12月1日に東京グランドホテルにて行われた第3回理事会、第2回評議員会・参与会において、井桁雄弘大阪府佛教会会長（本会理事）より、救援基金へ3,912,888円の日録贈呈が行われた。

本会では、自然災害の緊急支援や人道的支援を行うため、常設しております「救援基金」より様々な支援活動を行っております。今後も皆様のご協力をお願い申し上げます。（関連14頁）

尚、救援金は下記口座までお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

記

郵便振替口座 口座番号 00110-9-704834

口座名義 全日本仏教会救援基金

井桁雄弘大阪府佛教会会長（本会理事 写真左）
より有田恵宗理事長へ日録が贈呈された

